

口腔リハビリテーション指導用器具

口輪筋の引っ張り強さを測定

リットレメーター[®] Medical

治療結果を数値で評価できる!

口輪筋を鍛える際にも使用可能

リットレメーター Medical

仕様: [ハード 2.5kg]・[ソフト 2.0kg]

包装: 本体1個 マウスピース 大小 各1個



ハード

ソフト

価格 各¥3,200

一般医療機器 医療機器届出番号 13B2X10260000003
実用新案登録済

口唇閉鎖力のトレーニング

とじろくん[®] Medical

唇を上下に閉じる運動を繰り返すことにより 口輪筋の閉鎖力を鍛える!

とじろくん M メディカル

包装: 本体1個 バネ100g/200g/400g各1個 六角レンチ1個

*付属バネを交換する事により100g→400gへ負荷を変えられます。
初期設定は、200gのバネがセットされています。



価格 ¥2,800

一般医療機器 医療機器届出番号 13B2X10260000002
実用新案登録済

口輪筋・舌筋のトレーニング

あげろくん[®] Medical

マウスピースを舌で上に押し上げる 運動を繰り返すことにより 口唇力及び舌筋群を鍛える!

あげろくん M メディカル

仕様: [Sピンク]・[Mブルー]

包装: 本体1個 バネ100g/200g/400g各1個 六角レンチ1個

*付属バネを交換する事により100g→400gへ負荷を変えられます。
初期設定は、200gのバネがセットされています。



Sサイズ

Mサイズ

価格 各¥2,800

一般医療機器 医療機器届出番号 13B2X10260000001
実用新案登録済

*価格は希望医院価格です(価格に消費税は含まれておりません)。

発売元



株式会社 日本歯科商社

東京 本社: 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-19-5 TEL (03) 3625-3111
大阪 支店: 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-3-9 TEL (06) 6643-0085
北海道営業所: 〒001-0016 札幌市北区北16条西5-3-18 TEL (011) 716-7001
九州営業所: 〒812-0893 福岡市博多区那珂 4-16-22 TEL (092) 436-2288

製造元



有限会社 オーラルアカデミー

〒165-0025 東京都中野区沼袋3-26-5 Tel: 03-5380-2336 Fax: 03-3389-6810

高度管理医療機器等 販売業・貸与業 許可番号 第4514150081号
第二種医療機器製造販売業 許可番号 13B2X10260

ご用命は

表情筋を活性化することによって顔貌は年齢に関係なく改善されます。



トレーニング前後の比較:口輪筋が弱いと目元口元が下がってしまいますが、口輪筋を鍛えることで写真のように本来の顔貌に戻りました。年齢に関係なく筋肉は使わなければ衰え、使えば使うほど発達します。



顔は26種類の筋肉から作られています。これらの筋肉を使うことで顔の表情が決まります。

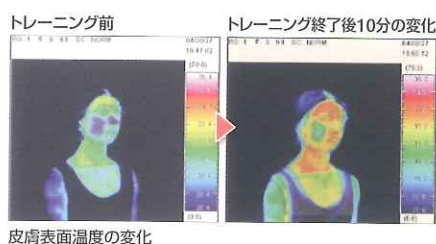
口輪筋の引っ張り強さを測定



リットレメーターの特徴はトレーニング器具としてだけでなく、測定器具として口唇の引っ張り強さを計測し、トレーニング結果を数値で評価するところです。リットレメーターには最大負荷量によりソフトとハードの2種類があります。ソフトは最大2.0kgまで、ハードは最大2.5kgの負荷まで測定が可能となっており、レベルに合わせた選択が可能です。正常値は少なくとも1.5kg前後の引っ張り強さが必要です。



マウスピースを装着した状態で水平方向にゆっくりと牽引し、唇からマウスピースがはずれそうになった時の値が、口輪筋の引っ張り強さの値です。



皮膚表面温度の変化

リットレMP

マウスピースだけでもトレーニングができます。マウスピースのみの別売り販売もあります。

包装:マウスピース大2個/小2個
価格 各¥1,250



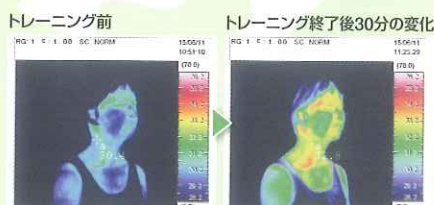
口唇閉鎖力のトレーニング とじろくんM Medical



口輪筋の閉鎖力を強化するトレーニング器具です。とじろくんを用いた訓練は上下の口唇に負荷を与える簡単な器具なので、6歳未満の子供や高齢者や要介護者にも簡便に使用できます。



口唇閉鎖力の弱い人は測定すると写真のように数値は10N以下です。トレーニング前の口唇閉鎖力は4.7N(約0.4kg)でした。3分間のトレーニング後、10.1N(約1kg)に増加しました。入れ歯は口腔周囲筋で支えられています。筋肉が衰えると入れ歯を支えることもできません。



3分間トレーニングすることで、その効果は1時間以上持続します。効果は口輪筋だけでなく、頸部にも及んでいます。これは多くの表情筋が口輪筋に付着し協調運動をしているからです。

咀嚼、嚥下に対する口腔リハビリテーション訓練により唾液の分泌を促し、口腔機能を向上させることができます。



口輪筋・舌筋のトレーニング あげろくんM Medical



あげろくんは口輪筋・舌筋のトレーニング器具です。舌筋群は口の中に隠れていますが、顔にとって大切な筋肉です。舌はいろいろな骨とくっついていますので、低位舌になると舌骨の位置が変わり、周囲筋のバランスも崩れます。

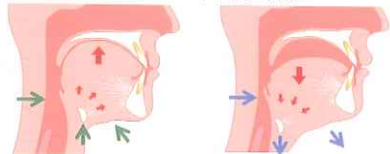
CT画像から治療結果が評価できます。



赤線:舌骨と頸椎ライン 黄線:下顎骨と頸椎ライン 白線:訓練後の位置の変化です。訓練の結果、気道量:12.4cc⇒13.2cc 咽頭容量:5.5cc⇒6.9ccに増加しました。気道の容積の増加は誤嚥を防止し、老人の死亡原因の3位を占める誤嚥性肺炎の予防になると考えられます。あげろくんを用いた3分間トレーニングにより、舌位、舌骨位、頸位、頸椎の正しい湾曲により頭位が改善し、気道の容積まで大きくなります。

舌は口腔内でどの位置にあるのでしょうか?

正常な舌の姿勢位(ボスチャー) 低位舌の状態



正常な口腔内は舌筋で満たされ、舌背が口蓋に軽く接しています。口をボカンと開いていると舌は沈下し低位舌となります。低位舌の場合、気道狭窄、舌骨の低位、二重あごなどが起こります。低位舌により舌根が沈下すると、誤嚥やいびきや無呼吸症候群の発症原因にもなります。



舌圧計による検査結果:トレーニング前の舌圧は17.0Nでしたが、トレーニングをした後には30.9Nに数値が増えました。